

帰国の際のロンドンでの乗り継ぎにおける留意点

当館では、シェンゲン協定域内での乗り継ぎトラブルを避けるためにも、帰国に際するルートとしてフライトの比較的安定しているロンドン経由を推奨しています。在英国日本国大使館が案内していますロンドンで乗り継ぎする際の留意点は下記の通りです。同ルートをご利用の際には、事前にご一読ください。

記

「ロンドンにて乗り継ぎをされる場合には、次の点にご留意ください。

1. ガトウィック空港からヒースロー空港へ乗り継ぎされる場合

3月30日現在、両空港間の直行交通バス（ナショナル・エクスプレス）は運休となっています。また、ガトウィック空港とロンドン市内を結ぶ「ガトウィック・エクスプレス」（ガトウィック空港～ヴィクトリア駅の特急列車）も運休しています。

その結果、ガトウィック空港からヒースロー空港への移動は、（1）タクシーで移動する、または、公共交通機関を使う場合は、3月30日現在、（2）ナショナル・レール（Southern 又は Thameslink）でロンドン中心部（Victoria 又は Blackfriars）に出て、そこから地下鉄でヒースロー空港に向かう、あるいは、（3）同じくロンドン中心部に出た後、パディントン駅まで移動してヒースロー・エクスプレスを利用してヒースロー空港に向かう、という方法があります。タクシーについては、通常より台数が減っていますが、ガトウィック空港、ロンドン市内とも利用可能となっています。

ロンドン市内の公共交通機関は一部の駅が閉鎖されつつも間引き運転が維持されていますが、これはあくまで自宅待機の例外の人々の移動（医療上の必要性、在宅勤務ができない重要な職業につく労働者の通勤等）を主眼とするものですのでこの点にも留意願います。（大きな荷物を持つての市内中心部の移動は、自宅待機要請中のロンドンでは大変目立ちますので、無用のトラブルを招かぬようご注意ください。）

また、英国政府はコロナウィルスの感染拡大を受けて全土に自宅待機要請を発出しています。その結果、ホテル等宿泊施設の大多数が閉鎖されており、一部営業しているホテルもその多くは医療従事者等英政府が必要不可欠と認める者しか宿泊させていない模様です。したがって、やむを得ない事情のためにロンドンを経由地とされる場合でロンドンで一泊せざるを得ない時には、事前にホテルの予約を確保されることをお勧めします。

なお、鉄道・地下鉄の運行状況、地下鉄駅の閉鎖状況は日々変わっていますので、必ず事前に鉄道会社ウェブサイト等で確認するようお願いいたします。

(関連リンク)

- ナショナル・レール (Southern) のウェブサイト (Thameslink の列車も検索可能)

<https://www.southernrailway.com/>

- ロンドン地下鉄のウェブサイト

<https://tfl.gov.uk/modes/tube/>

- ヒースロー・エクスプレスのウェブサイト

<https://www.heathrowexpress.com/#/>

2. ヒースロー空港内にて乗り継ぎされる場合

ロンドン・ヒースロー空港の制限エリアは24時間運用ではないため、乗り継ぎのために一夜を過ごす必要がある場合は、空港制限エリア内で夜を明かすことはできず、一度英国に入国する必要が生じます。空港周辺及びロンドン市内のホテル事情は上記の通り逼迫していますので、ホテルを必要とされる場合は事前に必ずホテルの予約を確保されることをお勧めします。また、英国への入国後は、上記のとおり自宅待機要請が出されていることや公共交通機関の状況に注意をお願いします。」

【連絡先】

在ポルトガル日本国大使館 領事班

電話：+351-21-311-0560

FAX：+351-21-353-7600

e-mail：consular@lb.mofa.go.jp